目次

序		iii
第1章	隠された事実を知る方法	1
1.1	ダメな質問票	1
1.2	回答のランダム化	2
1.3	集合で考える	4
1.4	喫煙率の推定	6
1.5	確率変数	10
1.6	期待値と分散	12
1.7	わからないときは	18
第2章	卒業までに彼氏ができる確率	23
2.1	恋愛結婚の普及率	23
2.2	ベルヌーイ分布	25
2.3	確率 p の解釈	27
2.4	組み合わせは何通り?	29
2.5	独立な確率変数の足し算	31
2.6	樹形図で考える	39
2.7	n 人の場合とコンビネーション \dots	42
2.8	2 項分布の確率関数	46
第3章	内定をもらう方法	51
3.1	就職活動	51
3.2	2 項分布の期待値	53
3.3	確率変数の和の期待値	55

3.4	インプリケーション	58
3.5	モデルの拡張	60
3.6	ベータ分布とは? (61
3.7	ベータ 2 項分布	64
第 4 章	先延ばしをしない方法 (59
4.1	次なる課題	69
4.2	先延ばしの仕組み '	71
4.3	卒論の価値	72
4.4	サボった後の苦しみ ′	74
4.5	時間割引 "	77
4.6	準双曲型割引	82
4.7	先延ばしの防止	86
4.8	課題の分解とコミットメント 8	87
第5章	理想の部屋を探す方法	91
5.1	新居探しの難しさ	91
5.2	グーゴル・ゲーム !	92
5.3	問題の構造	94
5.4	観察から得た情報を生かすには !	96
5.5	成功する確率は? (98
5.6	コンピュータによる予想	00
5.7	全体の 36.8% を見送る理由)2
5.8	究極の選択)8
第6章	アルバイトの配属方法 11	13
6.1	どうやって配属すればよいのか	13
6.2	選好とはなにか1	15
6.3	DA アルゴリズム	17
6.4	マッチングの安定性	
6.5	DA アルゴリズムの安定性	
6.6	どちらにとって最適か?	25
6.7	パレート効率性	
6.8	才能	32

第7章	売り上げをのばす方法	135
7.1	会議	135
7.2	ランダム化比較試験	136
7.3	ランダム化が必要な理由	138
7.4	条件付き期待値	140
7.5	潜在的結果	144
7.6	不偏推定量	146
7.7	その差は統計的に有意か?	151
7.8	統計的検定とフィッシャーの紅茶	153
第8章	その差は偶然でないと言えるのか?	159
8.1	検定のロジック	159
8.2	棄却域は対立仮説で変わる	162
8.3	売り上げデータの分析	165
8.4	正規分布の性質	166
8.5	サンプルサイズの設計	170
8.6	理論の必要性	176
第9章	ネットレビューは信頼できるのか?	179
9.1	ユーザーレビュー	179
9.2	陪審定理	180
9.3	チェビシェフの不等式	186
9.4	大数の弱法則	189
9.5	陪審定理の証明	193
9.6	個人の確率が異なる場合	195
第 10 章	なぜ 0 円が好きなのか?	201
10.1	どちらが得?	201
10.2	ゼロ価格の不思議	202
10.3	チョコレート実験	204
40.4		
10.4	効用関数と導関数	207
10.4 10.5		207212
		212

10.8	ゼロ価格効果の一般化	223
第 11 章	取引相手の真意を知る方法	229
11.1	価格競争	229
11.2	ゲーム理論と支配戦略	231
11.3	第2価格封印入札	240
11.4	メカニズムデザイン	246
11.5	デートの行き先は?	247
11.6	ナッシュ均衡——より一般的な定義	252
第 12 章	お金持ちになる方法	257
12.1	初めてのボーナス	257
12.2	ギャンブルでお金持ちになる方法	258
12.3	倍賭法の落とし穴	260
12.4	所得分布のカタチ	262
12.5	確率分布による近似	264
12.6	累積効果	266
12.7	対数正規分布の生成	269
モデルでる	みる世界	275
あとがき		277